

碩心

題字は松井岳洋筆

No.366

平成16年7月

発行

(社)日本詩吟学院岳風会 認可
神奈川 碩心会

発行者 加藤岳洵
編集者 磯村岳朋

神奈川県葉山町堀内206
Tel/Fax.046-875-3723

朗吟の心得

副会長 矢嶋 岳悦

私達碩心会々員は日々詩吟の研鑽に励んでおりますが、木村岳風遺稿抄より「朗吟の心得」の項を抜粋して紹介いたしますのでその一助となれば幸いです。

一、詩意をよく噛みしめつつ、その感激が自然吟調に現れるよう練習する事。

二、姿勢を正して、臍下丹田から発声するよう努める事。健康上からも、また立派な声を発する上にも必用な事。

三、口の開閉、舌の位置などに留意して、正しい発音をなし、不自然に作為した声を避ける事。兎角節を廻そうとすると不正確な発音になり易いので、悪い癖を付けぬ事。

四、朗吟中の呼吸法を研究する事。初心者の内は節に気を奪われ呼吸が浅くなりがちです。一節毎に深く呼吸して次の発声に移る様に練習していると、何時しか無意識の内

に深呼吸が出来て、発声が容易になり、気分に従って緩急、強弱が自由になって来る。五、成る可く多く立派な朗吟に接して耳を肥やす事。但し細かい節に拘泥して作為的な節や声にならない様に心掛ける事。この立派な朗吟から受ける良い感激を繰り返しているうちに、一步一步偉人傑士の魂に近づき自らの人格が向上して朗吟に気品が備わって来る。

冠称表彰者

宗匠 千葉岳関 中村岳愛
宗佑 村田岳滯 沼田岳義

高齢表彰者

3 中村岳愛	28 矢沢岳峰	58 光岡岳洗
66 井原岳松	72 後藤道岳	130 守谷信岳
149 新倉春岳	125 野口紀岳	164 徳本華岳
171 草柳武岳	256 渡辺紅岳	271 米山廣風

おめでとう御座います。

行事予定

○指導者吟道夏季講座

日程・8月1日(日) 9時20分受付
会場・エポックなかはら大ホール

○碩心会新役員初代会

日程・8月7日(土) 18時より
会場・逗子図書館講座室

参加者・各副部長・各副地区長以上

○高段者吟法講座

日程・9月5日(日) 9時受付
会場・はまゆう会館

○碩心会秋季審査会

日程・9月19日(日) 9時受付
会場・逗子図書館ホール

○全国優秀吟者神奈川地区予選会

日程・9月25日(土) 9時15分受付
会場・神奈川公会堂

第11回全国優秀吟者吟道大会 神奈川地区予選会のご案内

日 時・9月25日(土) 受付9時15分
場 所・神奈川公会堂
出吟料・2000円(申し込みと共に)
申込切・8月20日(金)
申込先・松井岳篁宛

☎046・856・9232

尚、課題は、前もって各支部に配布済です。

平成16年度 碩心会総会報告

日時…7月10日(土) 18時30分～20時30分
 場所…逗子図書館講座室

出席者…44名+委任状/87名中87%の出席率
 議長…司会者発議により加藤岳洵会長を選出
 議題…

- (1)各部、地区活動報告(松井岳篁総務、上村岳章許証、田中岳明企画、内山岳青教務、磯村岳朋広報の各部長および森晴岳 逗子・大船、沼田岳義葉山地区長が具体的に報告)
- (2)平成15年度決算報告(加藤芳岳会計部長)
- (3)監査報告(宇都宮岳徳監査)
- (4)質疑応答
- (5)平成16年度行事予定報告(総務部長)
- (6)同右予算案審議および承認
- (7)任期満了による役員改選(別表の通り役員が選出された)



総会風景
 (加藤会計部長の報告)

碩心会新役員紹介(平成16・17年度)

会長	加藤岳洵
副会長	矢嶋岳悦
総務部長	(兼)松井岳篁
副部長	小金智岳
会計部長	加藤芳岳
副部長	西岡清岳
許証部長	上村岳章
副部長	矢嶋見岳
企画部長	田中岳明
副部長	中山俊岳
教務部長	(兼)内山岳青
副部長	加藤美岳
広報部長	磯村岳朋
副部長	嶋津幸岳
青少年部長	立澤岳晴
副部長	(兼)菊池祐岳
葉山地区長	*福本岳辰
副部長	鈴木賢岳
澤大船地区長	森 晴岳
副部長	青木梅岳
会計監査	*菊池祐岳
顧問	加藤岳相
相談役	中村岳郵
参事	杉山岳雪
	白井岳麗
	宇都宮岳徳

*印は新任

昇伝認許(平成16年7月1日付)

(皆伝 11名)

374市原儀岳	207坂本神岳	206時田千岳
204久永広岳	202岸本里岳	201守屋悦岳
200高見湘岳	198梅原紅岳	196高見陽岳
195杉山美岳	193西ヶ谷秀岳	

(九段 7名)

169草柳武岳	166海津祥岳	165大前智岳
164江原一岳	161押山照岳	160高橋之岳
154西山蓉岳		

(十段 7名)

122大作愛岳	121依田清岳	116西川幸子
115大川政岳	114齋藤和岳	113市川邦岳
101矢島佳岳		

神奈川県本部吟道大会開催

— 創立五十周年記念を祝って —

木々の緑が一段と映え薫風が吹き抜ける好天の5月29日(土)、横浜山下公園に面した県民ホールに神奈川県本部会員で岳号を主力とした2000余名が集い、50周年を祝賀する大会が盛大に開催された。

先ず、全員の国歌斉唱と鹿嶋大会副会長の御製謹詠でプログラムが開始された。

地区ごとに所属団体を集約し、9グループで詠じた大合吟は圧巻で、前半が男性後半が

女性で皆200名を超え、大舞台いっぱいになった4列体形の大合吟団は正に隆盛の大会を象徴しその詠声は大ホールに響き渡った。

我が碩心会は横須賀第二地区グループに入り、男性50余名は「中庸」女性60余名は「弘道館賞梅花」を合吟した。

「五十周年を祝す」と題した構成吟は慶賀10題名が順に美しい舞いと朗々とした吟で演じられ、碩心会からも多数の人が自慢の詩舞を披露した。

恒例の各所属団体対抗コンクールは、3名構成の連吟が8チーム、10名構成の合吟が11チーム出場し、結果わが碩心会チームは連吟で課題吟「富士山」を堂々と吟じ優勝の栄冠を獲得し、合吟も堂々の第3位を受賞した。

午後は式典から開始され、各団体の会旗の堂々たる入場に続き、加藤大会副会長の先導による県本部詩合吟と来賓祝辞、感謝状贈呈、



連吟の部で優勝した右から
行谷隆風・植村成岳・嶋原隆風の
皆さん

最後に高齢者表賞があり、会場からの盛大な拍手を浴びた。

後半は役員吟詠、招待吟詠と岳風会所属の各先生方の素晴らしい独吟が次から次ぎと続き、会場はその魅力に包まれた。

閉会式ではコンクール結果発表と表賞の後全員で万歳三唱して幕を閉じた。

(優勝トリオのコメント)

・今回優勝出来ましたのは、メンバーはもとより練習をつけて頂いた先生方、また応援を受けた皆様方のお陰で感謝いたします。(植村成岳)

・優勝するなんて考えてもいなかった。無欲の勝利かな。6本なんて我ながらよく出た。松井・村田両先生、仲間の皆さん有難う。(行谷隆風)

・碩心会の代表として頑張りました。2大会共優勝でき夢のようです。ご指導頂いた先生方のお陰です。感謝します。(嶋原隆風)

第25回碩心会温習会おわる

6月20日(日)葉山町福祉文化会館に於て碩心会の温習会が開催された。広い会場が会員によって早くから埋められた。この日は風も強く、立て看板も外には立てられないほど。定刻に始まった。プログラム1番は広瀬兄弟、演台より小さい二人は、遠慮深く中心をはずれていたが、拍手は一番目立っていた。前半は、無事に終り後半のコンクールが始まった。



会員吟詠の一番バッター

全20組も有り、審査の先生方も大変だったでしょう。結果は、次の通りです。

優勝 逗子A支部

森久美子・田中好子・金子憲子

2位 幸和B支部

林田静子・河田好枝・田口綾子

3位 真澄支部

菊池早苗・星野輝子・佐藤由紀子

4位 幸和B支部

黒田慶子・渡辺英子・福田喜枝子

5位 真澄支部

嶋津幸子・小金美智子・高橋之子

5位 逗子A支部

中山俊江・米山茂子・菊地君子

大会が終わると、強風も静まり、全員がほっとしているようでした。

わたしの 雅号の由来

逗子A 村田 岳 瀨(澄江)

昭和35年頃から鎌倉彫を習い始め初伝中伝と進み、43年に奥伝となり雅号をいただいたのが「和瀨」です。

その後吟をやりませんかと誘われ、黙々と板を削っているより思い切り声を出す吟詠の方が、自分の性に合っているような気がして岳風会に入門し今日に至っております。

初伝を頂く時に雅号をつけるようにいわれ「瀨泉」としました。

瀨(とろ・せい)は川の流が静かで深い処という意味で、静かに奥深い漢詩や和歌の心を表現出来るように心掛けたと思っています。

逗子B 海 津 祥 岳(勝子)

私の雅号については、これといった特別な深い意味はありません。

皆伝になり岳を頂くに際し、折角ここまで続いてきたのもう少し頑張ってみたいと思いい、心機一転気持ちを入れ替えやってみよう

更に上達を願いながらいろいろ雅号を考えましたが、なかなか浮かばず結局この「祥」を使わせて頂くことにしました。

やはり、未だ「努力」の二字が足りない故あまり上達せず恥ずかしい限りで、教えて下さる村田岳瀨先生に申し訳けなく思っています。教場は明るく楽しく気持ちよく、更に上達を目指して勉強したいと思っています。

下山口 根 岸 柚 泉(和子)

詩吟の会に入会して名簿を拝見した時、立派な名前ばかりで驚きました。私の場合何の由来も自慢もなく、孫娘に柚(ゆずちゃん)がおりましたその一字を貰い受けました。

両親に贈られた本名の和子も大好きです。社会でもどんな集まりでも「和を以て成す」の和の精神がなければ、何ごともうまく行かないと思います。

テレビの・プロジェクトX・はチームの智恵と努力に和があつてこそ成功物語りです。また、書道展でも和の一字を見かけます。

昭和の初期に多い名前の筆頭が和子ですがきつとみな和やかな人柄だろうと勝手に決めています。

しかし、一度違う名前で呼ばれてみたかったのが「柚泉」です。柚ちゃん！ありがとう。

東伏見 佐 藤 英 泉(文彦)

雅号をいただけるとなったときに、私はそこに二つの意味があるように思いました。第一に、雅号は、勉強した努力に対する評価のような気がしました。泉から始まり、風、山へと変わる様は、まさに進歩の証です。第二は、雅号とは、それを意識して吟じるときに、" 気持を真摯にさせてくれるもの " ではないかという気がしました。

例えますと、親の前立った子には、誉められたいという気持と同時に、權威を前に、身の引き締まる思いといったものを感じます。雅号もこれと同じ構造かなと思つたのでした。

さて、私の雅号の読み「エイ」は、両親双方の名の音読みから採りました。二人とも故人となりましたが、この雅号を口に出す時、私は、「僕を誉めてね」とちよっぴり親に自慢します。また、「謙遜に毎日を過ごせよ！」という戒めを意識するのです。

思うに、生活の中で、雅号は、私を励ましてくれる一里塚のような気がします。

教場 訪問

◇一色教場

教場のなりたち 昭和41年12月5日一色教場が開設される。指導者は根岸清風先生、昭和42年会員増加により下山口にも教場を開く、数年後、詩吟のイロハより指導して下さった清風先生が病に倒れ不帰の客となられ、三井先生が少しの間指導下さり、次いで加藤先生に変わり熱心な指導を受け、会員増加にともない教場をABCの3つに分け、出席しやすいうようにする。Aは、根岸先生、Bと下山口教場は加藤先生の指導となる。Cを鈴木岳抄先生、守谷岳瑠先生が担当する。故佐久間溪岳先生の依頼により、葉山警察の職員、17名も参加、しかし署員の移動等により数年後止



一色教場の皆さん
◎は担当指導者

秋吉笙風 伊藤峰岳
鈴木清風 ◎加藤岳洵
鈴木祐岳 小菅幸岳
上野花山 岸本里風
伊藤泰泉 守谷信岳
新倉春岳 角田寿岳

一色支部と名称を改め現在に至る。

この日のようす 6月19日(土)13時くもり一色会館に於て加藤岳洵先生の指導のもと会員11名(1名欠)が、集まった。全員が女性である。岳洵先生が編集に携わっている「吟道」を読む。「吟道精神」「吟道訓」の合吟をし、温習会前日のこの日、合吟コンクール出場に向け、何度も稽古に励む2組、とつても熱心な事にびっくり、この後出吟順に稽古する。その中には、伴吟も有り、詩舞と共に稽古をしていた。取材するのも楽しかった。この後も、コンクールの稽古をするらしい。

第7回碩心会

夏季吟道講座に出席して

真澄 福本香岳
東伏見 由谷悦山
梅雨というのに快晴の7月4日(日)逗子図書館ホールに於て表記講座が開催されました。

参加者は166名(碩心会131名、他会35名)9時30分開会式の後、会長加藤岳洵先生のご挨拶があり「今年から課題が新しくなり集中的にそれを勉強するために今日の題材とした」との説明と講師の先生方の紹介がありました。第1講(立澤岳晴先生)・・『海南行』『道灌 蓑を借る・・』素読と同じ発音で吟じ、正しい

アクセントと濁音・鼻濁音に注意すること。口の奥を開けるようにすること。また、作詞のきまり「起承転結」の説明と興味深い1時間余でいろいろ教わりました。

第2講(上村岳章先生)・・『烏夜啼』『海』『春の山』を持ち前の美声で吟じられ、腹式呼吸法を会得して2句3息ができるよう特に努力せよとの教えでした。

第3講(松井岳篁先生)・・『書懷』『自然と人生』お好きな吟とすることで素晴らしく迫力ある吟詠でうっとりしました。新体詩は腹の底に力を入れて強弱に注意せよとのこと。

第4講(湘南吟詠会副会長升水岳森先生)・・『赤壁』俳句『荒海や』『塚も動け』詩を吟ずるには、詩吟中の人になれ。それには内容を充分理解するため素読が大事。漢詩は力を入れて吟ずること。特に俳句の吟詠が素晴らしく俳句がいつべんに好きになりました。

第5講(加藤岳洵先生)・・『吉田義卿を送る』『子等を思ふ歌一首』アクセントに迷ったら素読を重ねること。素読をしてから佐久間象山、吉田松陰の熱い歴史を拜聴しました。

今日一日、先生方のすばらしい吟を聞きながらいろいろ受講できたことを感謝しながら、予定通り16時35分開講式を迎えました。

(註・・本稿はお二人からご寄稿頂きましたので合文体文としました)

老人介護施設 “葉山清寿苑” を訪問

台風一過の好天に恵まれた6月22日(火)頌心会にとつて初めての試みとして介護老人福祉施設葉山清寿苑への慰問団派遣が実現した。「頌心会の活動を外に向かつてでも広げて行きたい」との会長方針を具現化したものである。加藤芳岳常任理事のお骨折りにより加藤会長、矢嶋・松井両副会長始め佳香会・紫紅会の方々の協力を得て総勢13名の会員が参加した。会場には舞台が設営され、更に紅白の垂れ幕まで掛かっており、歓迎の気持ちを感じ嬉しかった。三々五々車椅子の方、職員に手を引かれた方、杖を使い自力歩行される施設入所者等58名が集い始め、加藤常任理事の司会のもと、会長の挨拶に続き開演された。演目は青葉の笛・武田節・名槍黒田節・知床旅情・奥飛騨慕情・白鷺の城・名槍日本号・母の風雪等の歌謡吟詠で統一したもので、高齢者慰問向けには当を得た企画だった。反応はまちまちだったが、途中手拍子や掛声も加わり、和気あいあいの雰囲気で会場が湧き、後日次の様な感想文が届いた。



加藤岳会会長の伴吟のもと、凛々しい姿で舞を披露する白井岳麗参事

た。特に踊りが素晴らしかったです。知っている人が踊っていてとても良かった。

Fさんから すごく声がよくとても良かった。また来てもらいたい。

Tさんから なかなか出来ない事だよ。すごいと思う。

Hさんから 余談ながら取材中の広報部員の両親がこの施設で介護を受けており客席に居た。内山常任理事の計らいで番外出演の機会を得て、両親に初めて吟詠を聞いてもらったと言うエピソードも生まれました。又次回をとの拍手拍手で、成功裡に幕を閉じた。

第9回高齢者吟詠大会に寄せて

幸和A 西川 幸岳
梅雨の晴れ間で真夏のような7月10日(土)に横浜本郷台の地球市民かながわプラザホールで標記大会が開催され、わが頌心会からは10名が勇躍参加しました。

まず、全員で故立平岳昇先生のご冥福をお祈りし、和歌の部、漢詩の部、前回入賞者吟詠と予定通り進行了ました。頌心会は全員入賞圏に入らず残念でしたが、次に資すべく各自反省点を持ち帰られたことと思います。私達高齢者にとっては、現在の吟力を維持して行くために日々弛まぬ努力を続けることが健康維持にもつながり必要なことです。これからも遅々として歩んで行きますので諸先生方のご指導を宜しくお願いします。

会員移動

○入会(7月1日付け)

433 大塚 陽久 葉山町長柄1642・88

(悠 吟) 046・875・7511

434 山下 信 逗子市久木1・4・26

(逗子A) 046・873・3228

○退会(7月1日付け)

10 山口岳夕(栄) 48安田岳聡(逗子A)

198 梅原紅岳(栄) 418小林 昭(堀内B)

○教場移動

4 松井岳篁 逗子A(内山)より逗子A(松井)へ

181 植村成岳 逗子A(川瀬)より逗子A(松井)へ

204 久永広岳 逗子A(川瀬)より逗子A(内山)へ

○住所変更

160 高橋之岳 逗子市久木8・9・20 ☎は同じ

編集後記

あつ、という間に前期が終わってしまいました。夏の暑さを、元気で乗り越えて、後期も健やかに迎えたい。50周年大会、頌心会総会、温習会、夏季講座等々、思い返せば、大きな行事の多かった事、終わってしまうと、本当にあっけない、半年でした。 広報部

16年	7月現在	会員数
葉山地区		165名
逗子・大船地区		123名
合計		288名